

場面緘黙質問票 (SMQ-R)

名前 ( ) (男・女) (所属: ) 記入日 ( 年 月 日 )  
生年月日 ( 年 月 日 )  
年齢 ( 年 月 )

お子さんのこの2週間の行動についておうかがいします。  
次の各文について、どれがあてはまるかお答え下さい。  
(0 全くない・1 まれにある・2 よくある・3 いつも)

A 幼稚園や学校 A 計 ( ) 点

- ① ( ) 必要に応じて、たいていの同級生と学校で話す
- ② ( ) 必要に応じて、特定の同級生(友達)と学校で話す
- ③ ( ) 先生の問いに、声を出して答える
- ④ ( ) 必要に応じて、先生に質問する
- ⑤ ( ) 必要に応じて、たいていの先生や学校職員と話す
- ⑥ ( ) 必要に応じて、グループの中やクラスの前で話す

B 家庭や家族 B 計 ( ) 点

- ⑦ ( ) 必要に応じて、よその人が家にも家族と話す
- ⑧ ( ) 必要に応じて、慣れない場所でも家族と話す
- ⑨ ( ) 必要に応じて、同居していない親戚の人(例えば、祖父母やいとこ)と話す
- ⑩ ( ) 必要に応じて、親や兄弟と電話で話す
- ⑪ ( ) 必要に応じて、家族でつき合いのあるよく知っている大人と話す  
( ) 必要に応じて、家で特定の友達と遊ぶとき話す (←得点に含めない※)

C 社会的状況(学校の外) C 計 ( ) 点

- ⑫ ( ) 必要に応じて、知らない子どもと話す
- ⑬ ( ) 必要に応じて、家族の知り合いだが知らない大人と話す
- ⑭ ( ) 必要に応じて、医者や歯医者で話す
- ⑮ ( ) 必要に応じて、買い物や外食でお店の人と話す
- ⑯ ( ) 必要に応じて、おけいごとや学校外のサークル活動で話す

★ 影響や悩み (全くない・少し・かなり・大いにある)

- ⑰ ( ) 話せないことによって、お子さんの学校生活にどれくらい影響がありますか
- ⑱ ( ) 話せないことによって、家族関係にどれくらい影響がありますか
- ⑲ ( ) 話せないことによって、お子さんの人付き合いにどれくらい影響がありますか
- ⑳ ( ) 全体として、話せないことによってお子さんの人生にどれくらい影響がありますか
- ㉑ ( ) 全体として、お子さんは話せないことをどれくらい悩んでいますか
- ㉒ ( ) 全体として、あなたはお子さんが話せないことをどれくらい悩んでいますか

★は合計得点に含めず臨床的な目的でのみ用いる。

※SMQ 原文の12項目は「ベビーシッターのうち少なくとも1人と話す」だが、SMQ-Rの⑫では「必要に応じて、家で特定の友達と遊ぶとき話す」とした。ただし、得点には含めない。 また、Bergman et al (2008)では、「普通の声の大きさで話すかについて、答えるように」とある。